

健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かじや製油株式会社

2009年3月期 決算説明会

決算概要について

2009年6月1日(月)

取締役専務執行役員 水戸 優



決算概要について

- 1 . 会社概要
- 2 . 2009年3月期 決算概要
- 3 . 2010年3月期 事業計画



1. 会社概要



会社プロフィール(2009年3月31日現在)

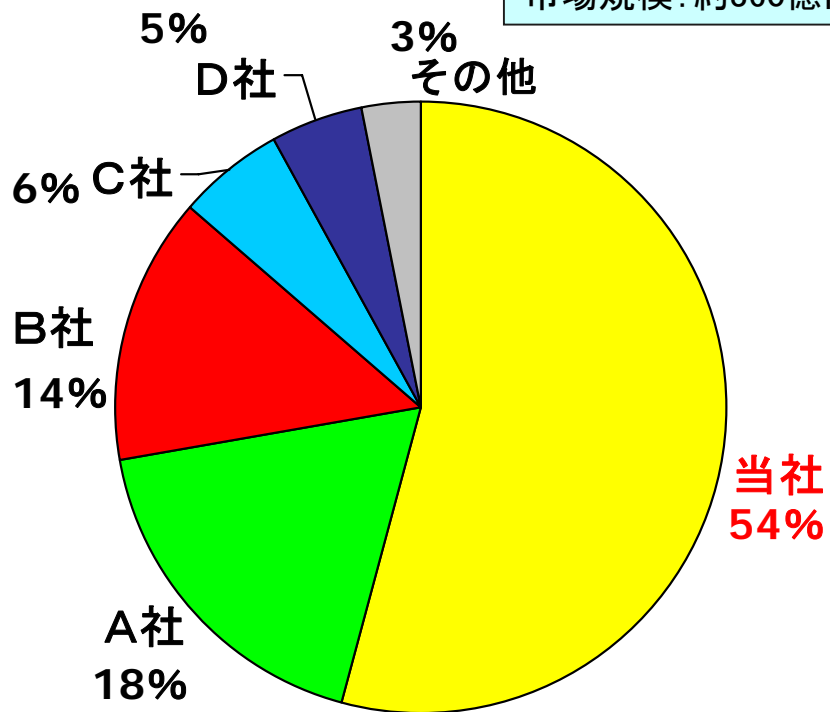
- 所在地 本社:東京都品川区
- 創業 1858年(安政5年)
- 設立 1957年(昭和32年)5月2日
- 代表者 取締役社長 小澤 二郎
- 資本金 21億60百万円
- 株主数 4,473名
- 従業員数 272名
- 事業所 本社、工場、
4支店、5営業所、1事業所



シェア状況

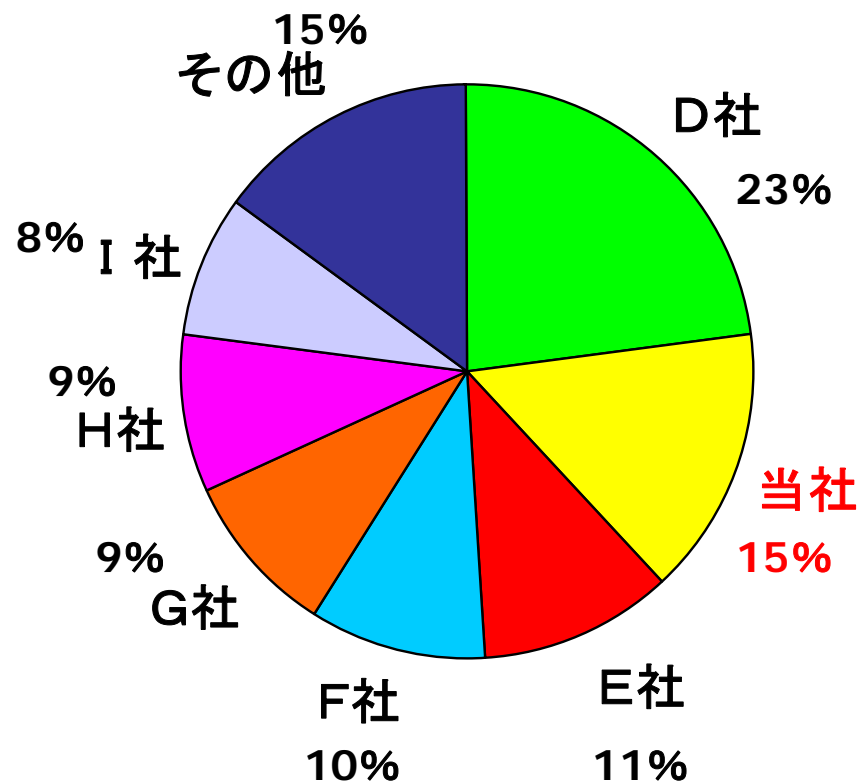
ごま油(2008年売上高)

市場規模: 約360億円



食品ごま(2006年売上高)

市場規模: 約240億円



上記数値は【株富士経済】調査による



2. 2009年3月期 決算概要



2009年3月期 決算の概要

(単位：百万円)	08年3月期	09年3月期	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	19,248 〔ごま油 14,627 食品ごま 3,827 脱脂ごま他 794〕	22,223 〔ごま油 16,740 食品ごま 4,823 脱脂ごま他 661〕	2,975 〔ごま油 2,113 食品ごま 996 脱脂ごま他 △134〕	15.5%	ごま油 : 販売数量 16%減、 価格 35%上昇 食品ごま : 販売数量 15%減、 価格 50%上昇 } 値上げは達成したが、 その影響で 販売数量減
売上原価	12,817	14,881	2,064	16.1%	〔 搾油原料ドルベース平均仕入価格 80%上昇 (全原料 90%上昇) 為替レート 10%円高 →原料払出価格 65%上昇 減価償却費・修理費などの経費増
販管費	5,274	5,503	229	4.3%	販売数量減による運賃減はあったが 創業150周年記念に合わせた テレビCM等広告宣伝費増や販促費増
営業利益 <利益率>	1,157 <6.0%>	1,839 <8.3%>	682	58.9%	
経常利益 <利益率>	1,220 <6.3%>	1,829 <8.2%>	609	49.9%	(2008年5月発表 会社計画 1,200百万円)
当期純利益 <利益率>	677 <3.5%>	1,014 <4.6%>	337	49.8%	

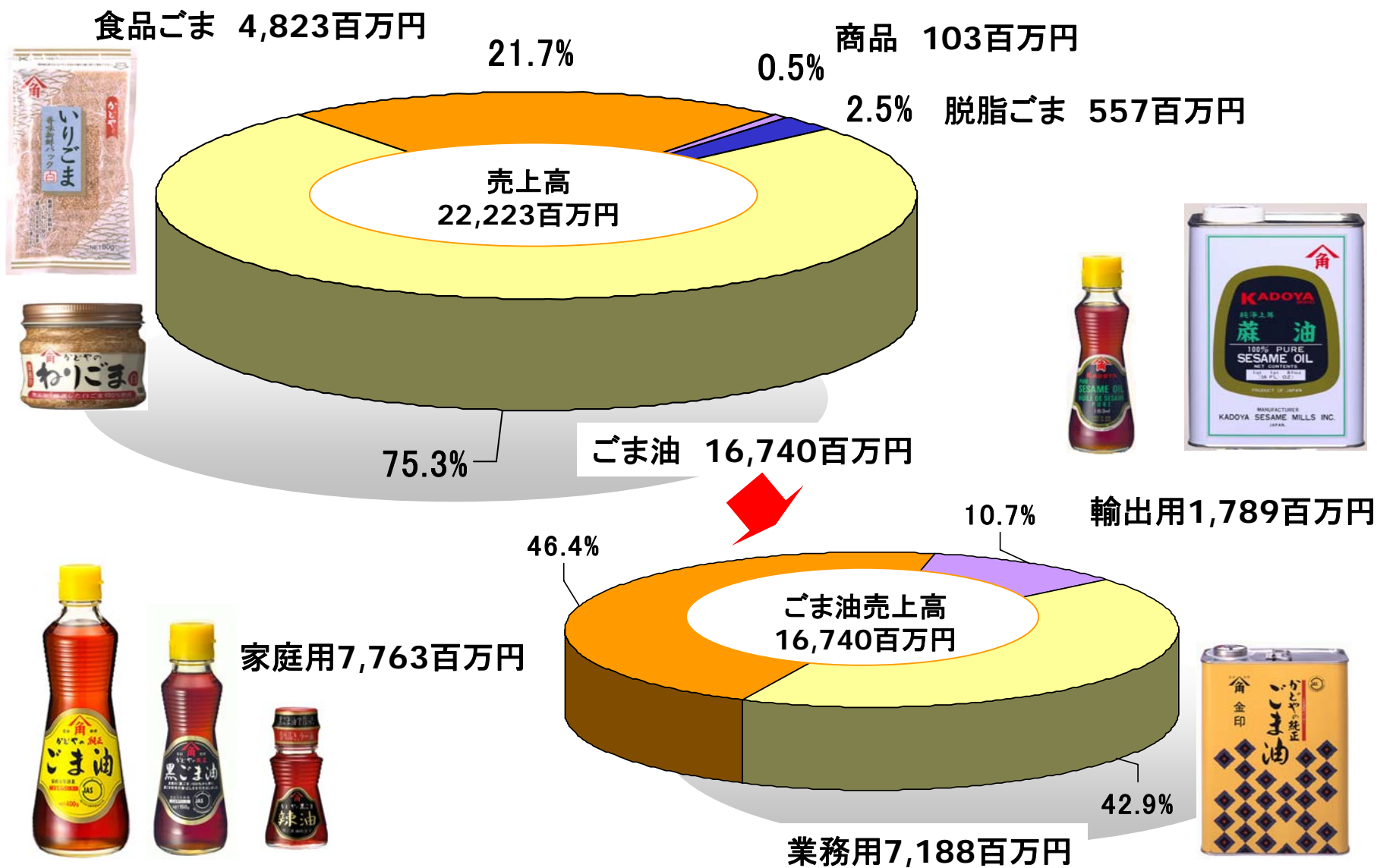
【為替】

原価計上レート¥/\$ 115 円 104 円

決済レート¥/\$ 115 円 104 円



商品別、用途別売上高 (2009年3月期)





貸借対照表の主な増減要因

(単位:百万円)	08年3月期 期末	構成比 (%)	09年3月期 期末	構成比 (%)	前期比		増減要因
					増減金額	増減率	
資 産							
■流動資産	12,959	64.1	12,647	65.3	△312	△2.4%	
■固定資産	7,255	35.9	6,725	34.7	△530	△7.3%	
資 産 合 計	20,214	100.0	19,372	100.0	△842	△4.2%	
負 債							
■流動負債	4,846	24.0	3,298	17.0	△1,548	△31.9%	
■固定負債	655	3.2	683	3.5	28	4.2%	
負 債 合 計	5,501	27.2	3,981	20.5	△1,520	△27.6%	
純 資 産 合 計	14,713	72.8	15,391	79.5	678	4.6%	
負債・純資産合計	20,214	100.0	19,372	100.0	△842	△4.2%	



3. 2010年3月期 事業計画



2010年3月期 事業計画

(単位：百万円)	09年3月期 実績	10年3月期 予想	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	22,223 〔ごま油 16,740 食品ごま 4,823 脱脂ごま他 661〕	20,200 〔ごま油 15,390 食品ごま 4,340 脱脂ごま他 490〕	△2,023 〔ごま油 △1,350 食品ごま △483 脱脂ごま他 △171〕	△9.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量は概ね2009年3月期並 ・景気低迷によるごま製品需要への懸念 ・原料価格低下・円高進行による取引先からの製品価格引き下げ圧力を予測
営業利益 〈利益率〉	1,839 〈8.3%〉	1,200 〈5.9%〉	△639	△34.7%	<p style="text-align: center;">〈経費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場 燃料費 減少
経常利益 〈利益率〉	1,829 〈8.2%〉	1,200 〈5.9%〉	△629	△34.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年3月期は創業150周年関連事業費あり
当期純利益 〈利益率〉	1,014 〈4.6%〉	650 〈3.2%〉	△364	△35.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・販促費増

通期想定為替レート¥/\$ 100円

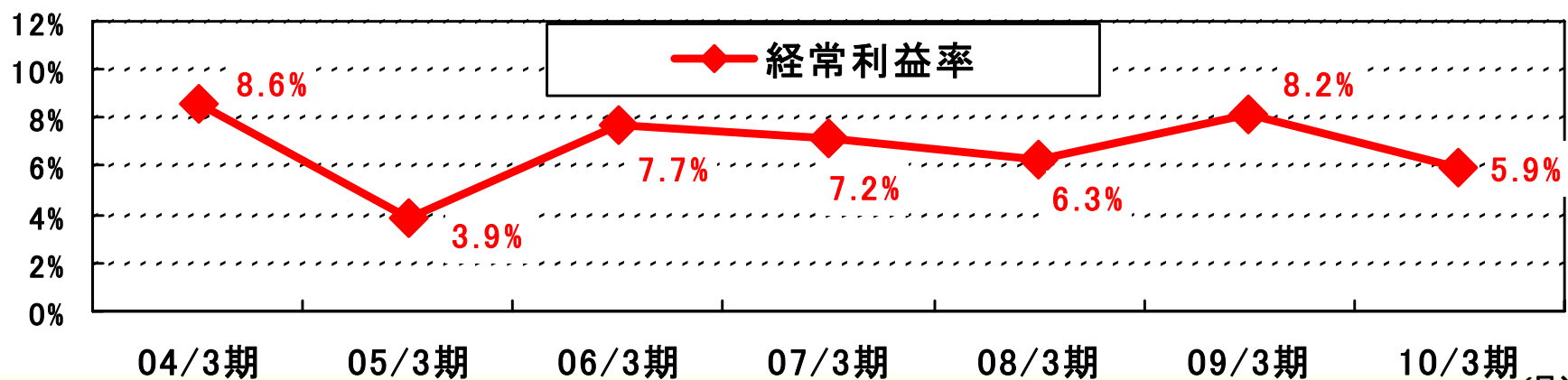
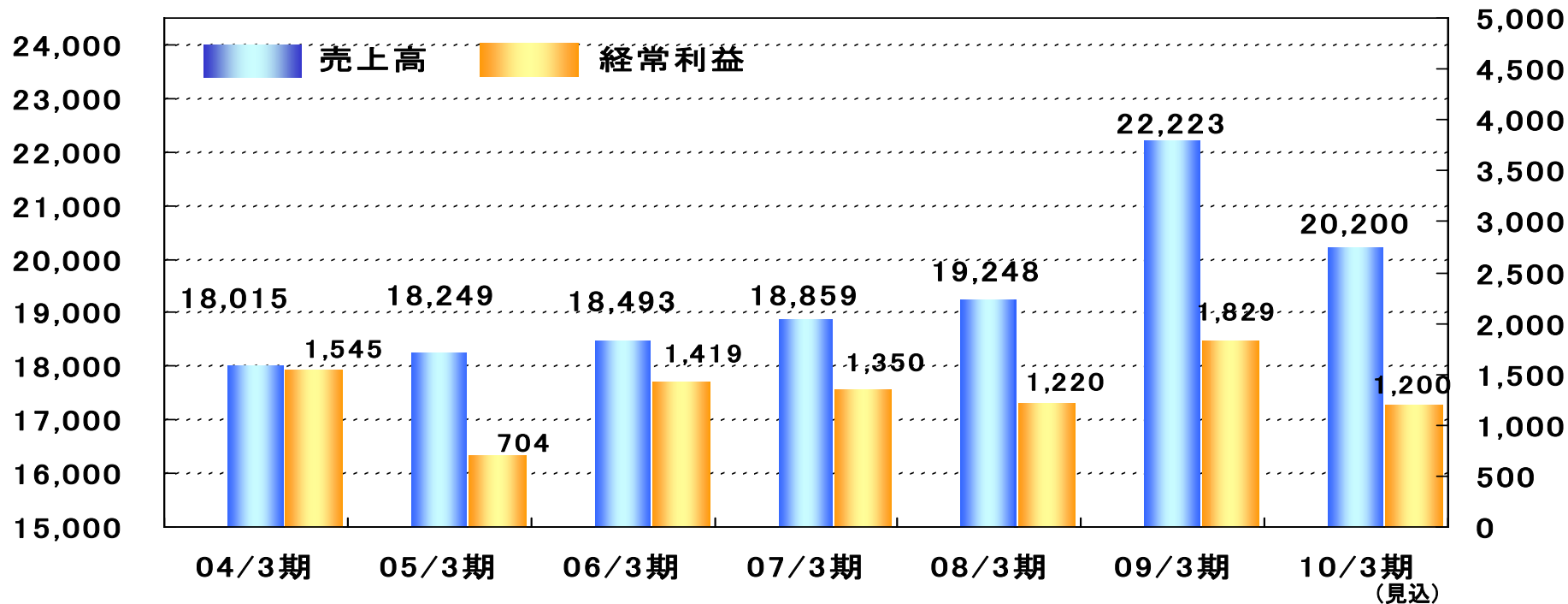
為替レート1円変動による損益への影響額 約40百万円/年



2009年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移

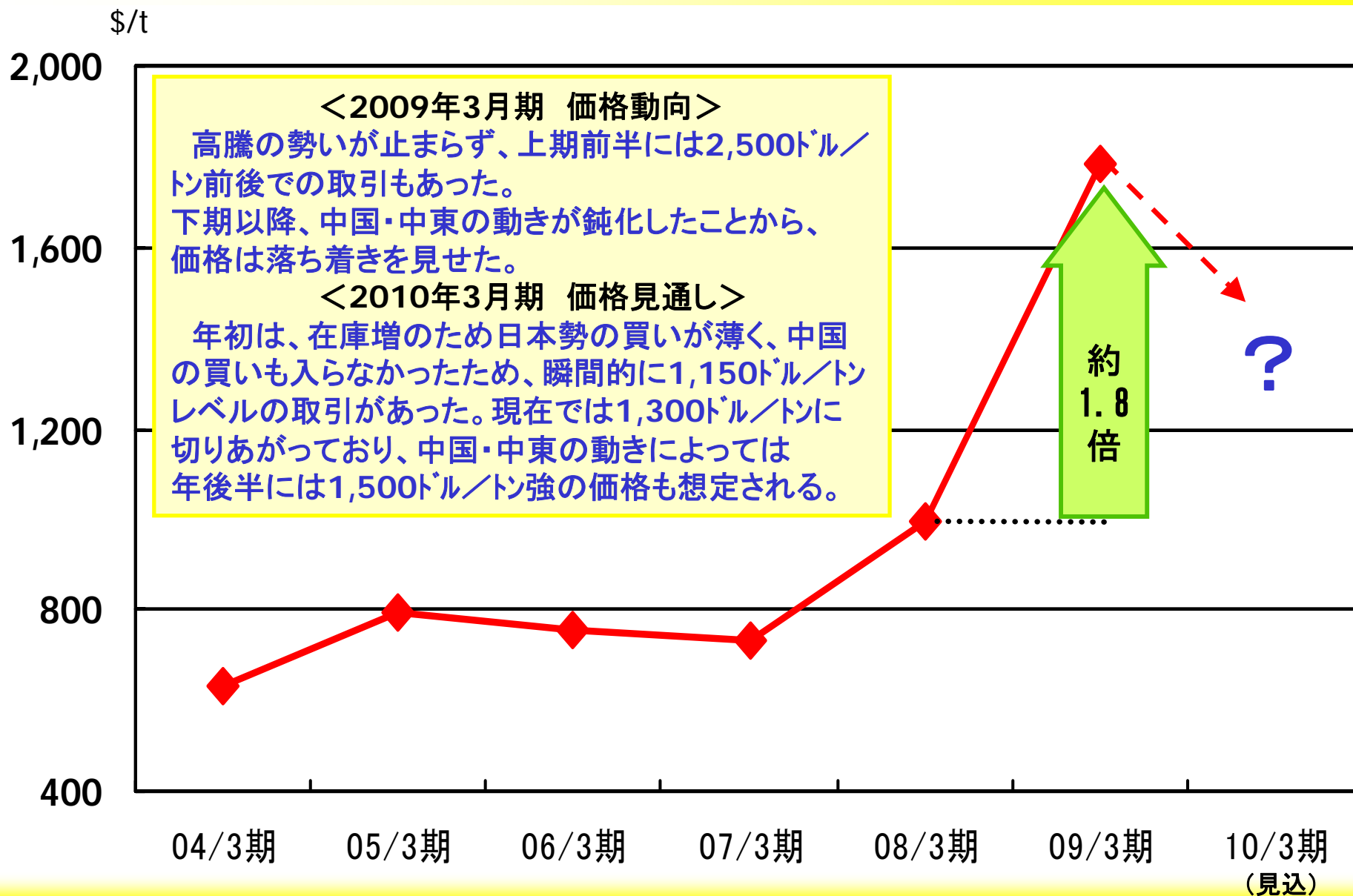
(売上高: 百万円)

(経常利益: 百万円)





当社搾油用原料価格の動向(年度平均)



健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かどや製油株式会社

2009年3月期 決算説明会

経営展望について

2009年6月1日(月)

代表取締役社長 小澤二郎



経営展望について

1. 販売状況
2. 売上拡大策
3. 原料
4. 経営展望



1. 販売状況



2009年3月期 販売状況

上期は資源価格高騰に見合う価格改定(値上げ)を実施、
下期は上期の値上げによる販売数量ダウンを挽回すべく、販売促進も

上期

家庭用ごま油 : 7月に約20%強の製品値上げを実施
業務用ごま油 : 4月より順次製品値上げを実施
食品ごま : 4月より順次製品値上げを実施

取引先の理解で
適正価格への
引き上げを達成

下期

家庭用製品: 1~3月の消費者キャンペーンに合わせ、テレビCMを放送
拡売条件の有効活用
主要特約店との短期契約(キャンペーン)(11・12月、2・3月)
業務用製品: 製品価格の見直し(下方修正、もしくは値上げ見送り)(11月~)
個別対応

通期の販売数量: ごま油は16%減、食品ごまは15%減
通期の製品価格: ごま油35%上昇、食品ごま50%上昇



2010年3月期 販売方針

▽ 小売のPB商品拡大を受けて

2009年3月より、セブン&アイのPB商品「セブン・プレミアム」で製品を生産・供給開始。予想を上回り、売れ行きは好調である。消費喚起力に注目するとともに、市場のニーズの変化に柔軟に対応する。案件ごとの採算性・生産性、及びNB商品の販売状況等に鑑み、是々非々で取り組んでいく。

▽ 家庭用

夏場のごま油需要期に合わせた消費者キャンペーン(7~9月の実施)とテレビCMの放送で当社商品をアピールする。主要特約店との年間契約・短期契約や大手量販店との個別の施策を打ち出し、販売数量アップを図る。

▽ 業務用

ごま油については、原料動向・市場の状況に応じて柔軟な価格対応を取り、販売数量アップを図る。食品ごま・ねりごまについても、取引先のニーズに柔軟に対応する。



2. 売上拡大策



売上拡大策(コラボレーション商品)

他社商品とのコラボレーションで 当社のブランド力をアピールし、
当社製品の販売拡大へ繋げる

ひでん せんの こうべい

①火伝 千幸兵衛シリーズ 「韓国のに風味せん」
(2009年2月発売開始)

米菓で有名な亀田製菓(株)とのコラボレーション商品。
全国のローソンで限定販売中。
青のりを練り込んだお煎餅に当社のごま油(銀印 濃口)を
使用した香り高い商品。



②しおとごま油風味ポテトチップス(2009年3月発売開始)

ポテトチップスでおなじみのカルビー(株)との、
期間限定販売の コラボレーション商品。
2009年3月期は関東限定で2~5月に販売し、たいへん好評を得た。
反響が大きかったため、2010年3月期は販売地域を全国に拡大。
3・4月の販売数量は前年同期の20%増を記録。
販売店からの強い要望により、
5月までの販売期間を9月まで延長。





売上拡大策(新商品)

黒ごま&オリゴ 10g×10本入り (2009年7月発売開始予定)

当社ホームページ 通信販売のみでの限定発売
きめ細やかに練り上げた黒ごまにオリゴ糖・はちみつ・黒砂糖の
上品な甘味を加えた。
通常のねりごまよりも柔らかいため牛乳など液体に混ざりやすく、
パンやアイスクリームにかけるなどして、手軽に食べられる。



黒ごま

不足しがちな食物繊維、ビタミンなど栄養の宝庫として食べられてきた。黒ごまに含まれる「ゴマリグナン」には体のサビつきを防ぐ働きがあると言われ、不規則な生活習慣やストレス社会に悩む現代人に期待されている。

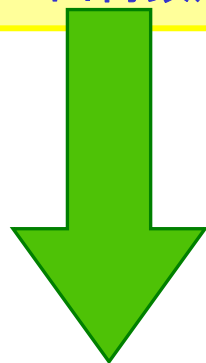
おなかのことを
大切に考えて、
オリゴ糖をプラス



売上拡大策（消費者キャンペーン）

毎年2回、「純正ごま油」購入者を対象に、抽選で5,000円をプレゼント。
2009年3月期は創業150周年を記念し、当選者数を大幅増加。
(総数: 6,000→10,500名)

2009年1~3月には全国18局のテレビでCMを放送
※2008年7~9月 応募総数: 約46万通、
応募レスポンス率(応募数÷出荷数): 7%強



2009年1~3月の応募総数は約52万通(前年同期比+30%)、
応募レスポンス率は9.0%(前年同期比+1.4ポイント)に。

2010年3月期上期(7~9月) 目標応募総数 60万通

- ① 上期は下期に比べ、販売数量及びキャンペーン応募数が多い
- ② 7~8月にはCM放送を予定しており、効果が大いに期待できる



3. 原料



原料の安定調達

現 状

- ① ごま生産 — 全世界の生産量は増加。
2008年度生産量：約350万t（2003年度比：約9%増）
生産国で天候異変・農薬問題等のリスクが発生しやすい
- ② ごまの需要 — 需要の強い中国ならびに中東の動向が注視される
世界的に増加傾向が続くが、賄えない量ではない

調達方針

- 商社のチャンネルを活用し、高品質の原料を安定的に調達**
- ① 優良な産地・現地の輸出業者との取り組みを強化すると同時に、
新たな買い先の選択肢を増やす
 - ② 作付面積の変化や天候情報、収穫時期・収穫見込数量について、
迅速・的確な情報収集を行う



食の安心・安全について

背景

▽ 食品自体の安全性に関する問題

冷凍食品への農薬等異物の混入とそれによる健康被害
ナイジェリア産ごまへのアフラトキシン(カビ毒)混入(2008年6月)

▽ 食品会社のモラル・コンプライアンスに関する問題

原材料の産地や賞味期限について、相次いで食品の偽装が発覚
ごま業界は小さな会社が多く、似たような危険が生じないとは限らない

方針・施策

- ① 原材料から最終商品までのフローをマニュアル化、
さらに、品質管理部門のスタッフを増やして品質管理体制を強化
- ② 原料の残留農薬に対し、自社検査機能を充実化し、公的機関へも検査依頼
- ③ 企業行動憲章をはじめとする全従業員へのコンプライアンスの徹底

消費者の皆様に安心・安全なごま製品を提供できるよう、
常に向上を図ることで信頼を得て、売上拡大に繋げる



4. 経営展望

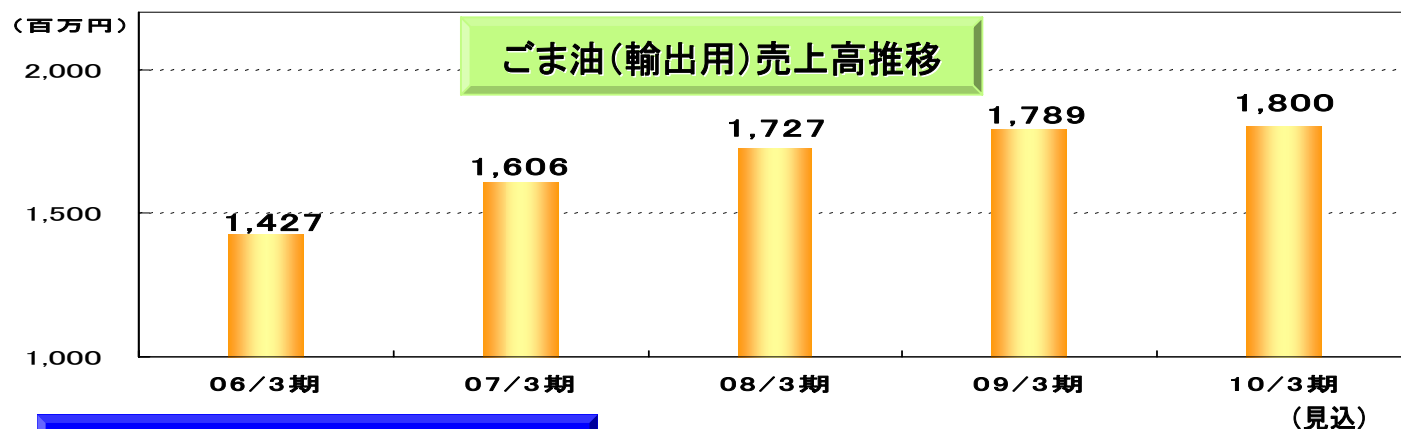


中期展望

ごま油

国内： NB商品・PB商品とも、流通の変化や世の中のニーズに対応していく。
PB商品に柔軟に対応し、結果としてNB商品の売上アップに繋げる。

海外： 2009年3月期は経済危機の影響と思われる米・加の需要の大幅低下の影響を受け、当初目標の売上高に達しなかった。
既存エリアでは販促費を投入しもう一段積極的な販売展開をし、
新規エリアの開拓も目指すなど、2010年3月期は前期並の売上確保を目標とする。



食品ごま

2008年3月期から皮むきごまの内製化に着手。メリットを見込んで増強中。
原料価格・品質管理等、中小規模の企業には厳しい状況下のため、
それらで優る当社にはシェア拡大の余地があり、
場合によっては ①業務提携 や ②M&A などの手法も視野に入れていく。



配当性向

- ◆ 2007年3月期より、業績に連動させた配当に変更。
 - ◆ 配当性向の目標は、当期純利益の40%を目処とする。但し、業績に関わらず、1株当たり20円以上の配当を継続して行なえるよう努力。
-
- ◆ 2009年3月期の期末配当金は、1株当たり50円の予定。
 - ※ 1株当たり普通配当金45円に創業150周年記念配当金5円を加え、50円とさせていただく。



※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

取締役専務執行役員 水戸 優

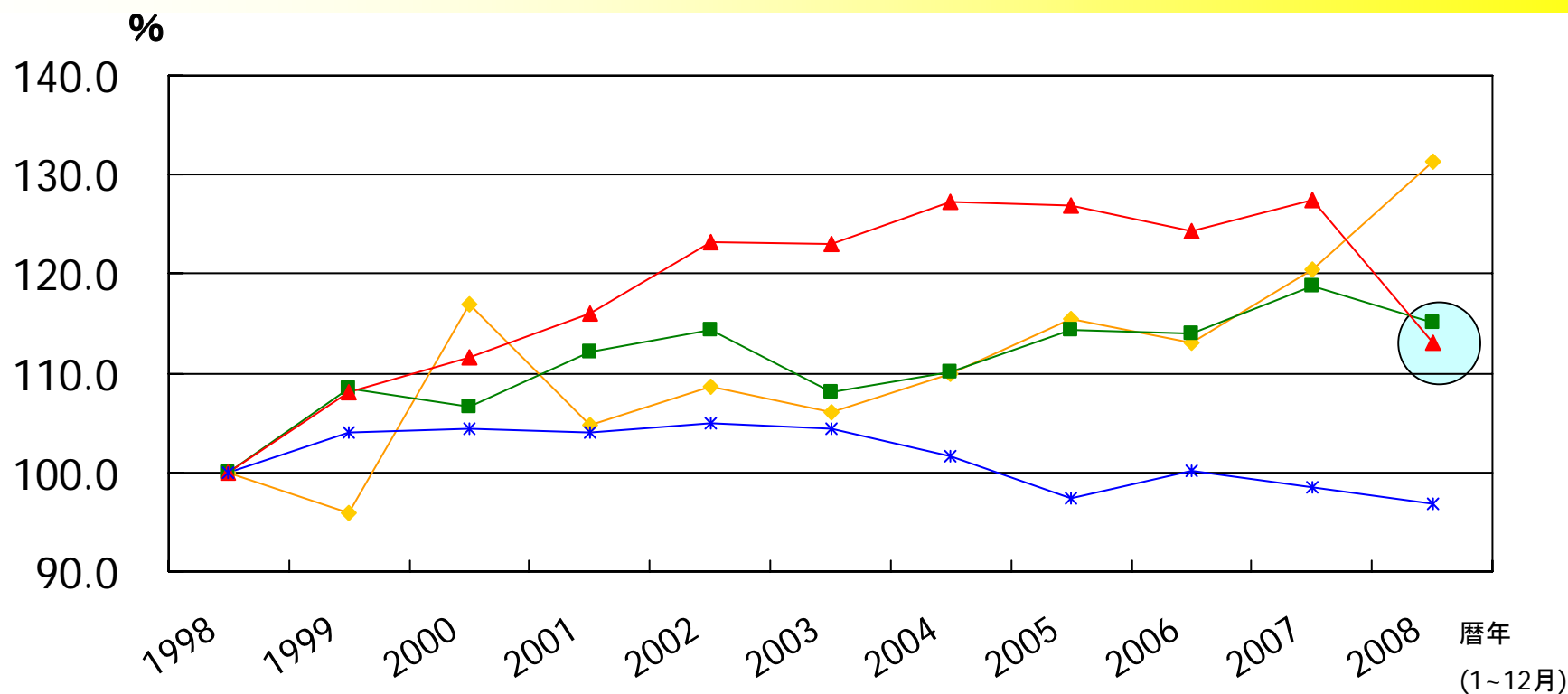
URL: <http://www.kadoya.com/>



付 属 資 料



わが国のごま種子輸入量と搾油状況

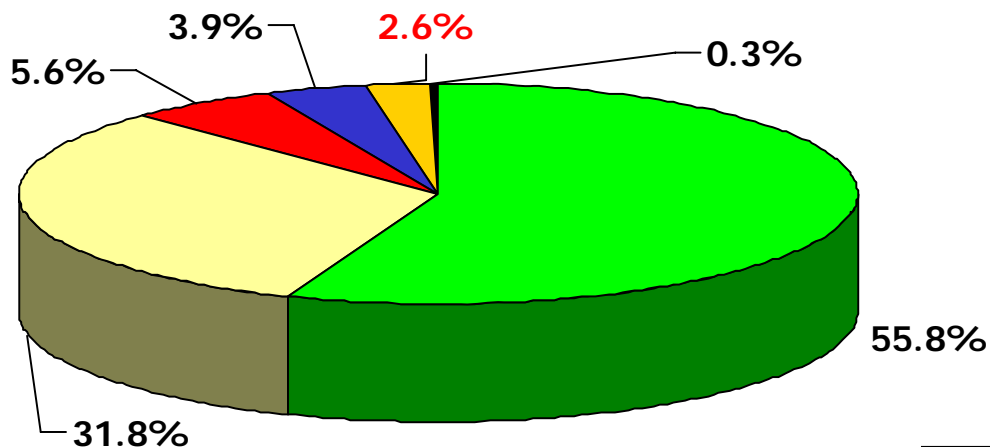


	(1998年)	(2008年)	(伸び率)	(単位:トン)
◆ 全国ごま種子輸入量	140,860	185,105	131.4%	
■ 全国ごま油生産量	38,085	43,845	115.1%	
▲ 当社ごま油生産量	19,797	22,369	113.0%	
* 全国可食油生産量	1,759,633	1,703,372	96.8%	

資料: 財務省通関統計
農林水産省作成
「油糧生産実績表」



わが国の油糧(可食油)生産量実績



2008年生産量

1,703,372トン

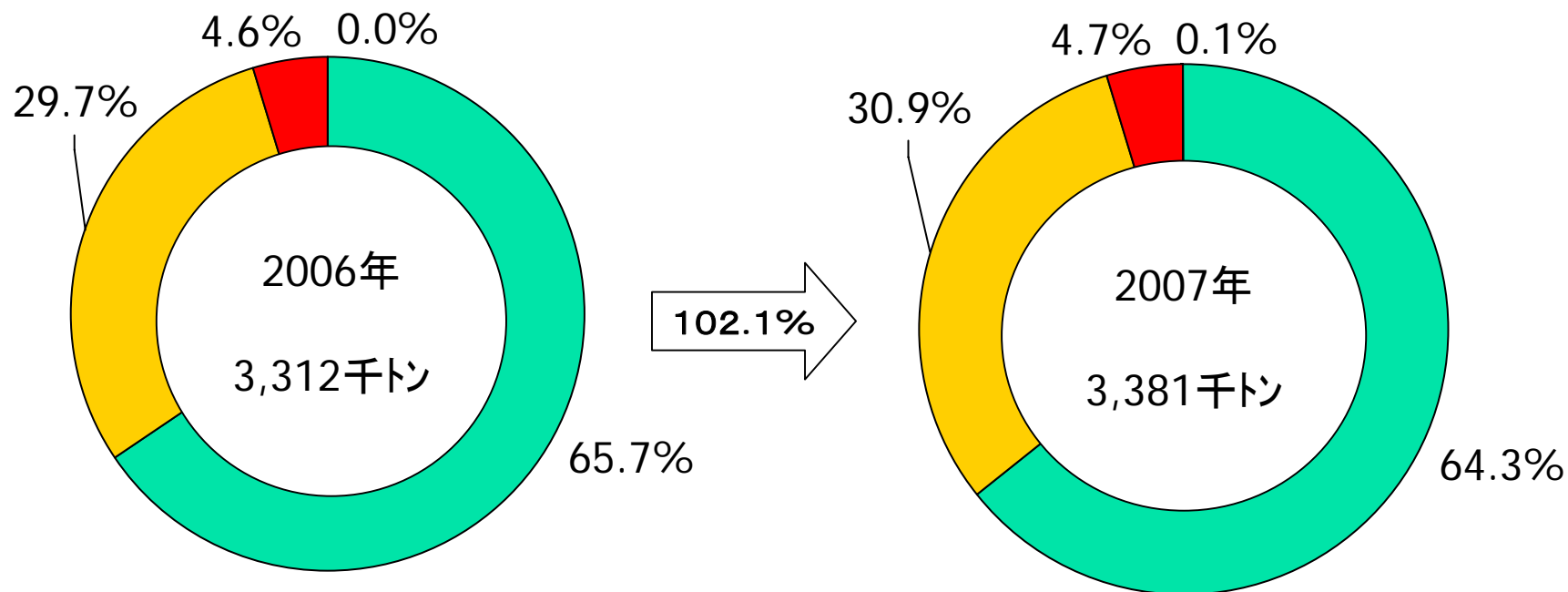
- 菜種
- 大豆
- とうもろこし
- 米ぬか
- ごま
- 紅花
- その他

	1998年 (数量:トン)	2008年 (数量:トン)	増 減	
			(数量:トン)	(比 率)
菜種	867,286	950,529	83,243	9.6 %
大豆	667,185	542,335	△124,850	△18.7 %
とうもろこし	103,040	95,818	△7,222	△7.0 %
米ぬか	61,520	65,665	4,145	6.7 %
ごま	38,085	43,640	5,555	14.6 %
紅花	13,843	-	△13,843	- %
その他	8,567	5,385	△3,182	△37.1 %
合計	1,759,526	1,703,372	△56,154	△3.2 %

資料：農林水産省作成
「油糧生産実績表」



世界のごま種子生産量



(主な生産国)

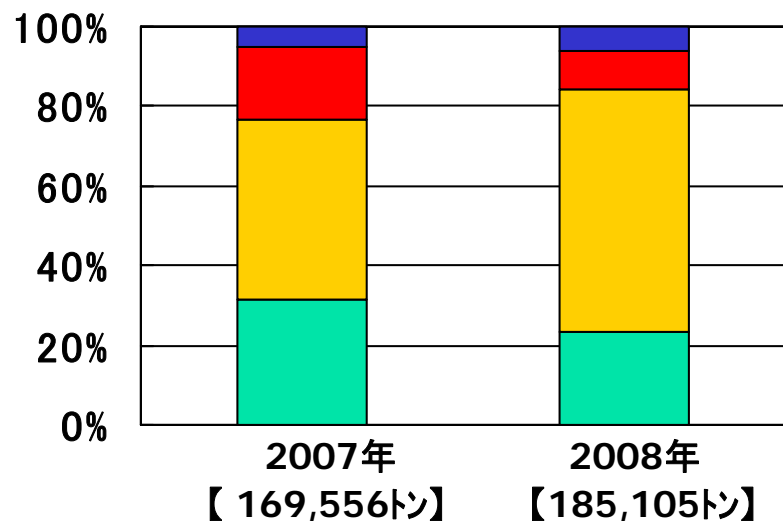
資料: FAO Inter-net data base

単位: 千トン	2006年	2007年	増 減
インド	586	670	84
中国	666	558	△108
ミャンマー	580	600	20
スーダン	200	260	60
ウガンダ	166	168	△2
エチオピア	160	164	4
ナイジェリア	100	100	—

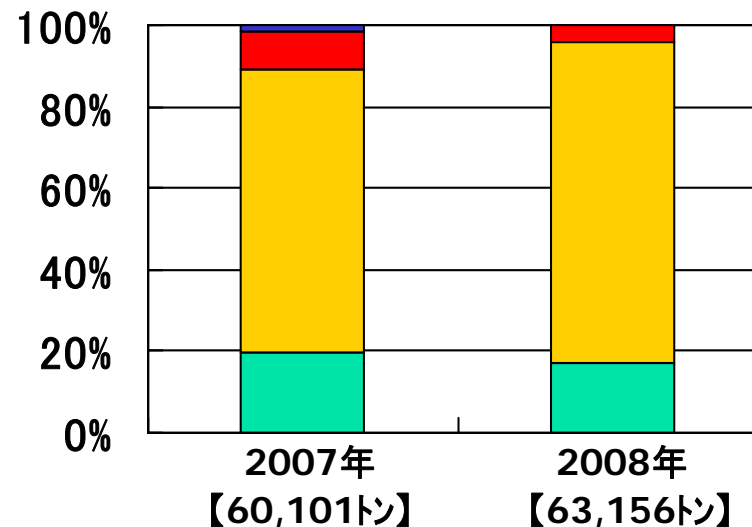


わが国のごま種子輸入実績

全国



当社



■ 中国	5.0%	5.9%
■ 東南アジア	18.2%	9.9%
	(ミャンマー・トルコ他)	(ミャンマー・トルコ他)
■ アフリカ	45.3%	60.8%
	(ナイジェリア・タンザニア他)	(ナイジェリア・タンザニア他)
■ 中南米	31.5%	23.4%
	(パラグアイ・ホリビア他)	(パラグアイ・ガテマラ他)

資料:財務省通関統計